

三沢川



川沿いの桜並木と湧水

川崎市麻生区黒川に源を発し、稲城市の丘陵部の谷間を鶴川街道沿いに東流した後、再び川崎市に入り、二ヶ領上原堰下流で多摩川に注ぐ全長約9.9km(うち東京都管理区間約6km)の河川です。

旧河川敷等を活用した散策路や緩傾斜護岸が整備されています。川沿いのサイクリングロードでは、約300本ものソメイヨシノ、ヤマザクラ、オオシマザクラ等を見ることができます。



①三沢川分水路

三沢川の治水安全度向上と合わせて、多摩ニュータウン開発に伴う雨水流出対策のために整備した分水路。山岳部をトンネルで通過し、JR南武線多摩川鉄橋の上流側で多摩川に注いでいる。昭和58年完成。



大栗川



川のせせらぎに耳をすませば

八王子市鐘水付近に源を発し、野猿街道に沿って西から東へ流れ、多摩市に入り同市連光寺付近で乞田川と合流し、多摩川に注ぐ全長約15kmの河川です。

多摩ニュータウン開発の宅地造成工事に先立つて、河川整備が行われました。現在、老朽化したコンクリート護岸を緑化ブロックで再構築するとともに、遊歩道の整備によって環境や親水性に配慮した川づくりを行っています。川岸を散策する人、川のせせらぎをながめながらくつろぐ人など、訪れる人々の憩いの場になっています。



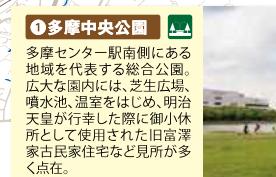
②いろは坂

大栗川の霞ヶ関橋から続くくづらおりの急坂で、坂の途中にある「いろは坂」(櫻花公園)からは聖蹟桜ヶ丘の街並みが一望できる。



③金比羅宮

江戸時代の文政年間に建られた神社。かつては多摩川や武藏野台地が一望できたことから、岩があつた場所とされており、近くに「天守台」(開戸城跡)の案内が建つ。



④関戸古戦場跡

元弘3年(1333)に新田義貞と鎌倉幕府軍との間で繰り広げられた「関戸合戦」が行われた場所。この戦いで勝利した新田軍は、6日後に鎌倉を制し鎌倉幕府を滅亡させた。

